

## TOTO

## サーモスタット混合栓

TBX43A型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

# 1 安全上の注意

(安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



⊘ は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。

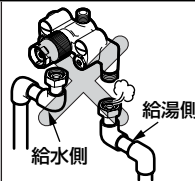


ⓘ は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

## 警告

### 湯水を逆に配管しない

水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。



禁止

### 給湯温度は85℃より高温で使用しない

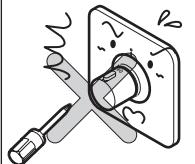
85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



分解禁止

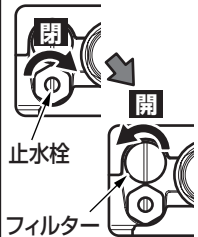
### この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない

破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



## 警告

フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、止水栓を閉めてから行う  
また、湯側フィルター部分が熱くないことを確認する



必ず実行

高温の湯が出て、やけどをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

目盛りどおりの湯が出るよう、必ず温度調節を行う

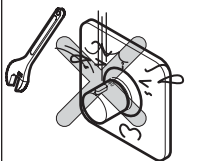
使用条件によっては目盛りどおりの湯が出ず、やけどをすることがあります。



## 注意

### 強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



禁止

### 凍結が予想される場所に設置しない

部品が破損し、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



## 2 仕様

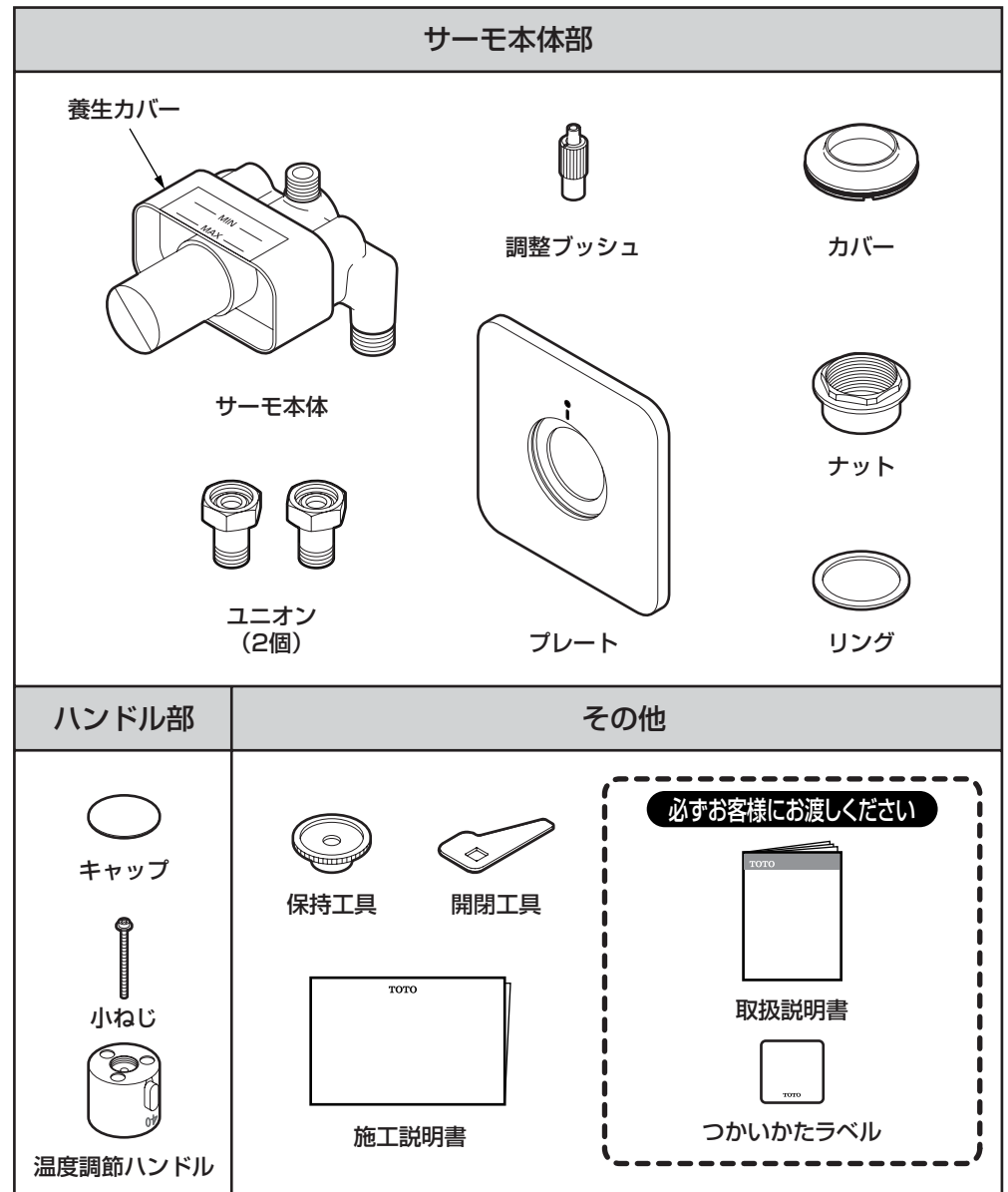
給水・給湯圧力	最低必要水圧	0.15MPa (流動圧)
	最高水圧	0.75MPa (静水圧)
使用最高温度	85℃以下	
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水	
使用環境温度	1~40℃	
用途	パブリックおよび一般住宅浴室用	

## 3 取り付け前に

- 給水圧力が0.75MPaを超える場合は、市販の減圧弁で0.2~0.3MPa程度に減圧してください。快適に水栓をお使いいただくためには、0.2~0.3MPa程度の圧力をおすすめします。
- 誤操作などによるやけど防止のため、給水圧力は給湯圧力より必ず高くするか、同圧になるようにしてください。また、湯側を加圧する場合でも、必ず湯側圧力を水側より低くしてください。
- 給湯温度は、使用する温度より10℃以上高く設定してください。
- 誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。
- 給湯機からの給湯管は、抵抗を少なくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。

## 4 部品の確認

次の部品があることを確認してください。

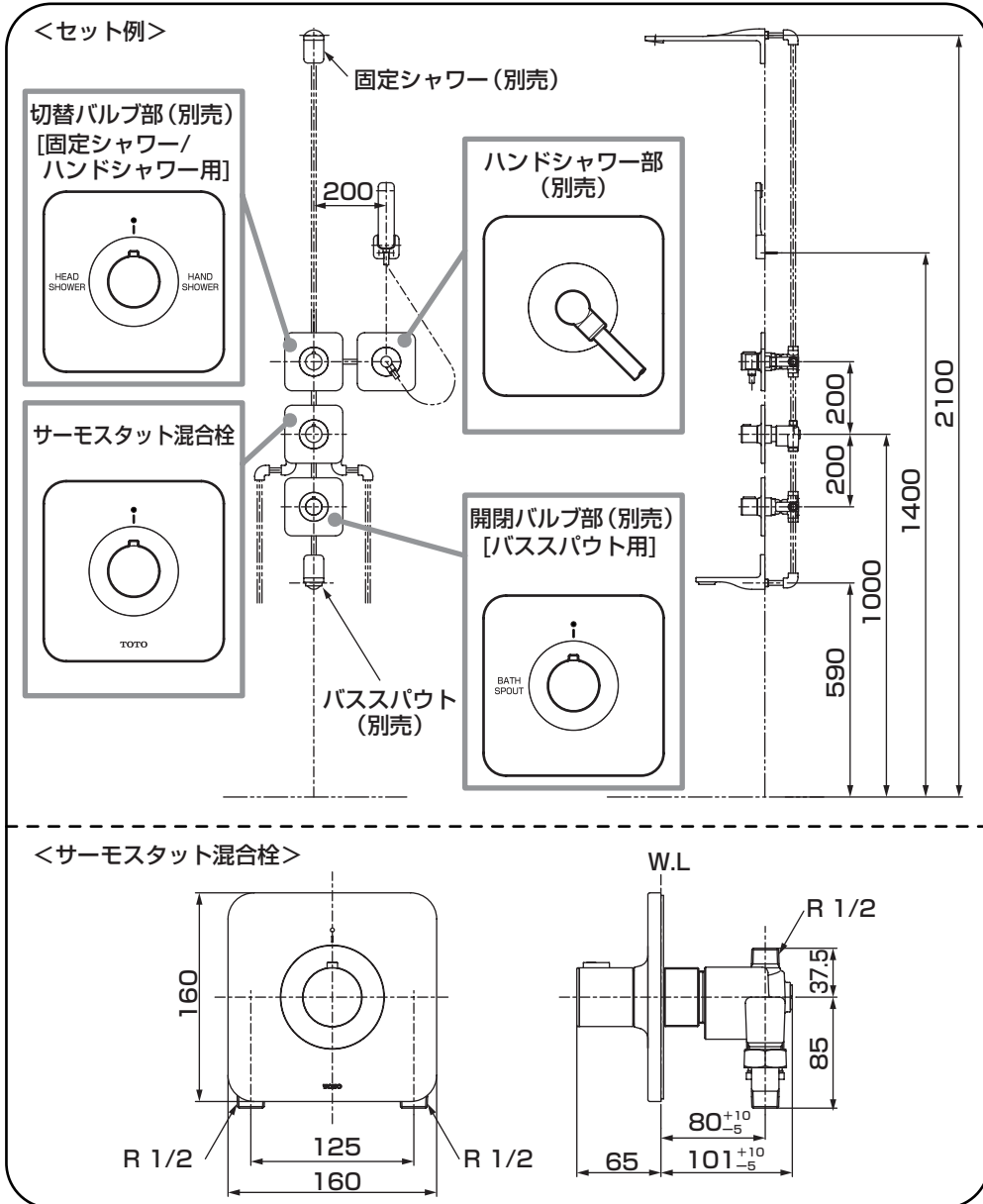


※ 品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

# 5

## 完成図

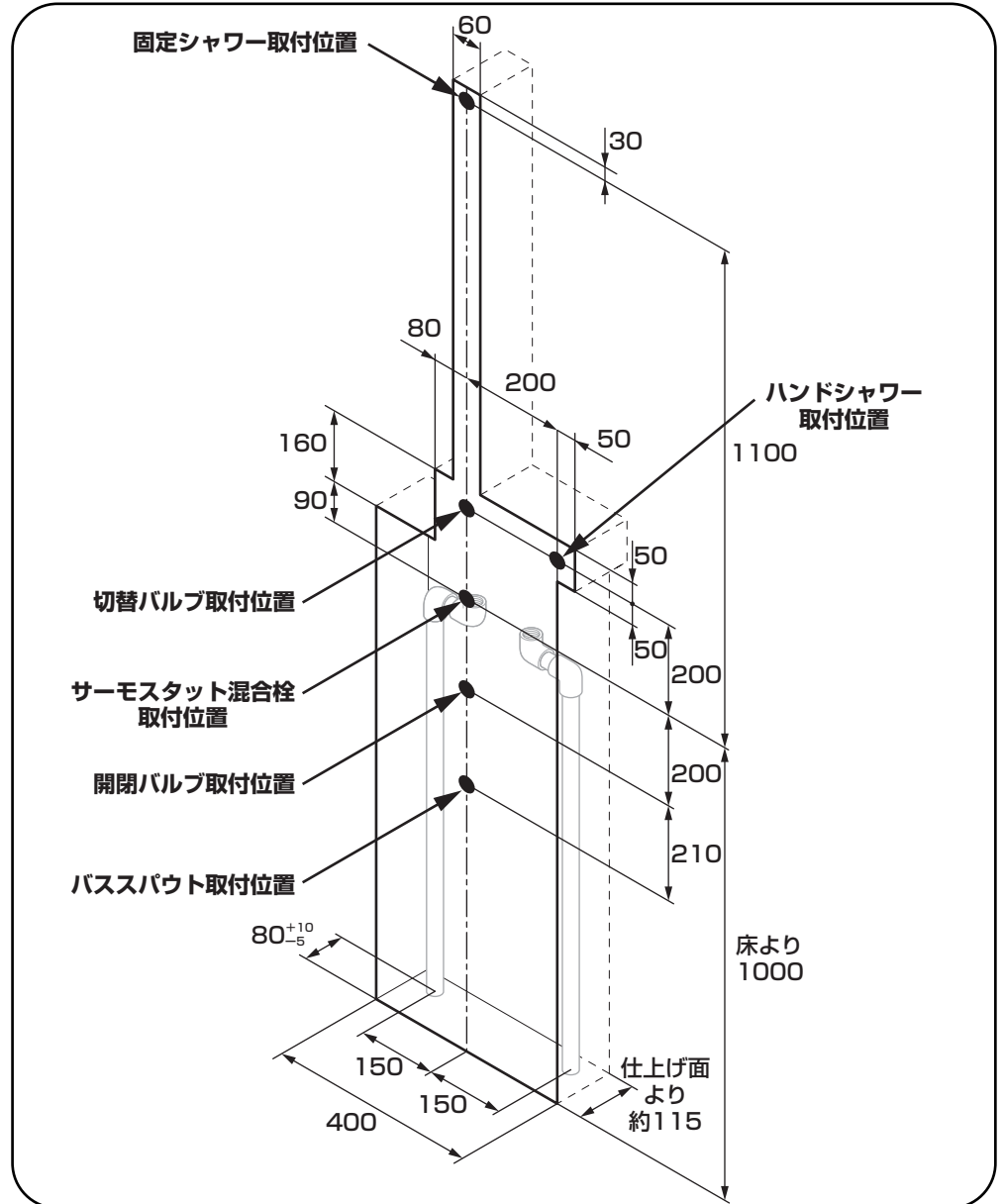
※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



# 6

## 下準備

下記寸法で、水栓器具の設置場所を確保してください。



# 施工手順

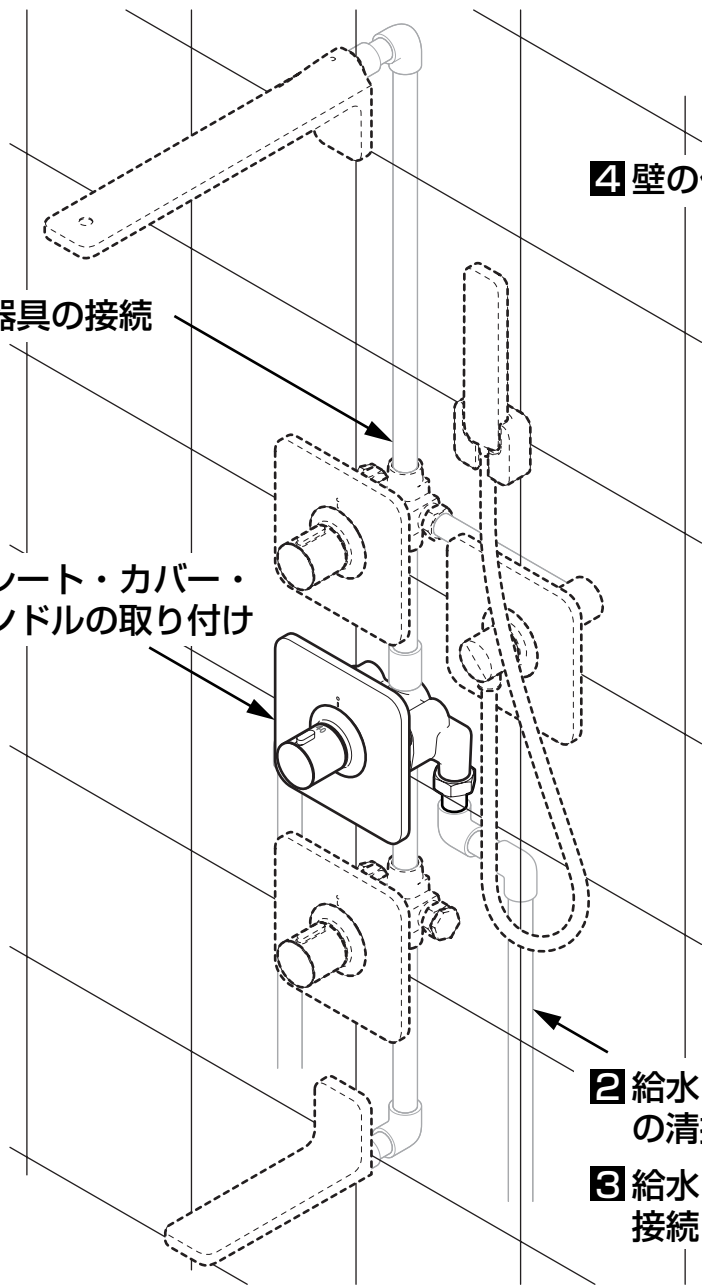
## 1 各器具の接続

## 5 プレート・カバー・ハンドル取り付け

## 4 壁の仕上げ

## 2 給水・給湯管内の清掃

## 3 給水・給湯管の接続

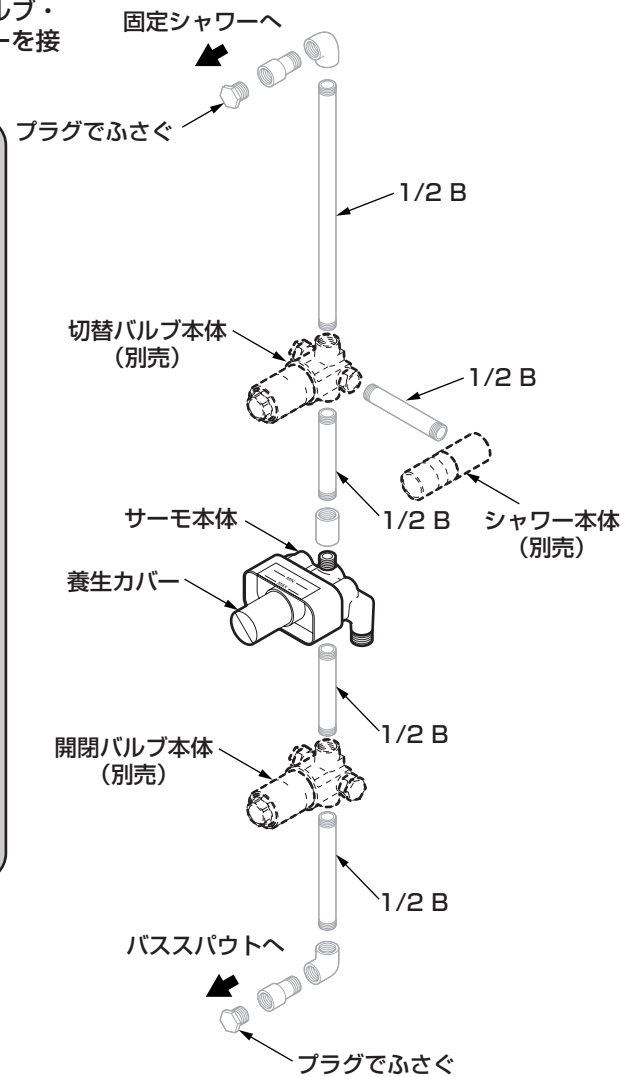
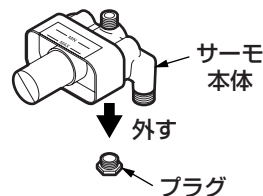


## 1 各器具の接続

サーモ本体に別売の切替バルブ・開閉バルブ・ハンドシャワーを接続する。

### 注意

- 接続には、市販品の配管部材を別途手配してください。
- 接続箇所には、必ず配管用シール材を使用してください。
- 養生カバーは紛失しないように注意してください。
- バススパウトを配管する場合、サーモ本体下部の付属のプラグを外してください。



裏面へつづく

## 2 給水・給湯管内の清掃

取り付ける前に **必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

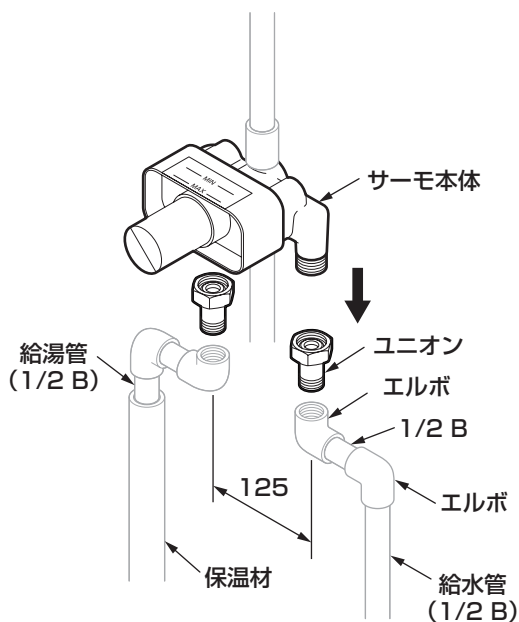
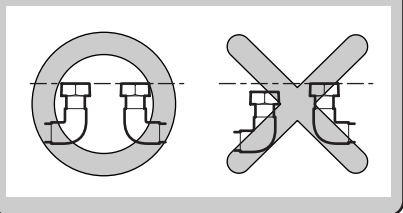
**重要**

## 3 給水・給湯管の接続

- ①給水・給湯管を立ち上げる。
- ②給水・給湯管に同梱のユニオンを接続する。

**注意**

- 給湯管には、保温材を巻いてください。
- ユニオンの高さが同じレベルになるように取り付けてください。



- ③サーモ本体をユニオンのナットで締め付ける。

- ④配管接続後、埋め込み配管部に通水し、接続部分から水漏れがないことを確認する。

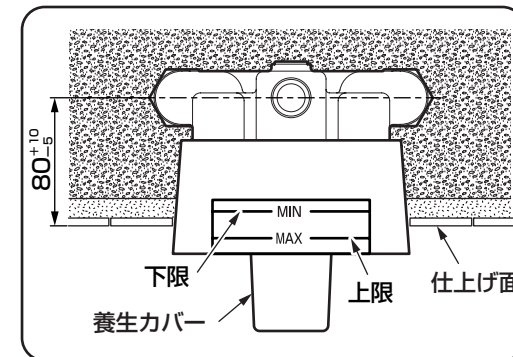
**重要**

## 4 壁の仕上げ

- ①モルタルなどで埋め戻す。

**注意**

- 養生カバーの内側にモルタルなどが入り込まないように注意してください。
- モルタルなどによる埋め戻しをしない場合、給水・給湯管および各配管はホルダーなどを用いて十分に固定し、器具が動かないようにしてください。



- ②養生カバーに表示してある仕上げ範囲内に納まるように壁の仕上げをする。

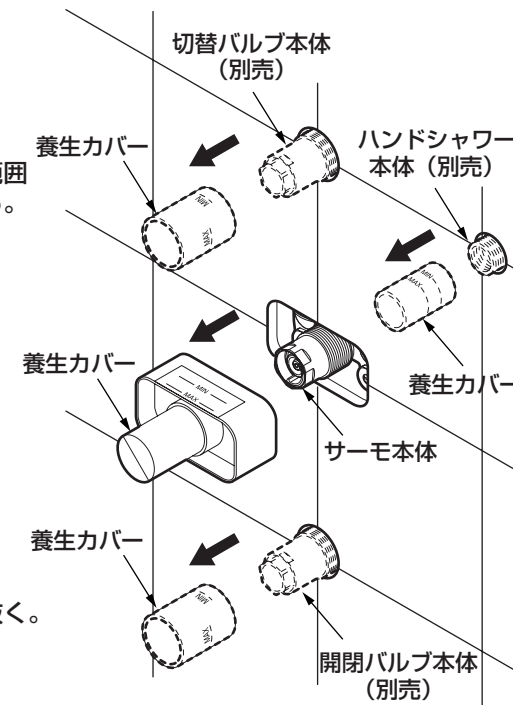
**注意**

仕上げ範囲を超えるとプレートなどの正常な取り付けができませんので、壁仕上げについては十分に打ち合わせしておいてください。

- ③壁の仕上げ後、養生カバーを引き抜く。

**注意**

養生カバーは壁の仕上げが終わるまでかぶせたままにしておいてください。





## 5 プレート・カバー・ハンドルの取り付け

### 注意

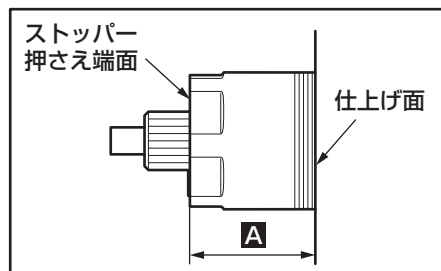
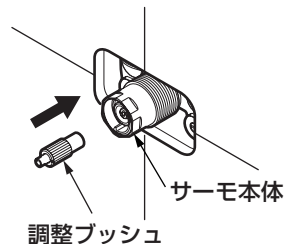
プレート・カバー・ハンドルは、**8-1**の  
**1.水出し確認** **2.フィルターの掃除**  
**3.流量の調節** を行ったあとに取り付けてください。

①調整ブッシュを差し込む。

②仕上げ面からストッパー押さえ端面までの距離 **A** を測る。

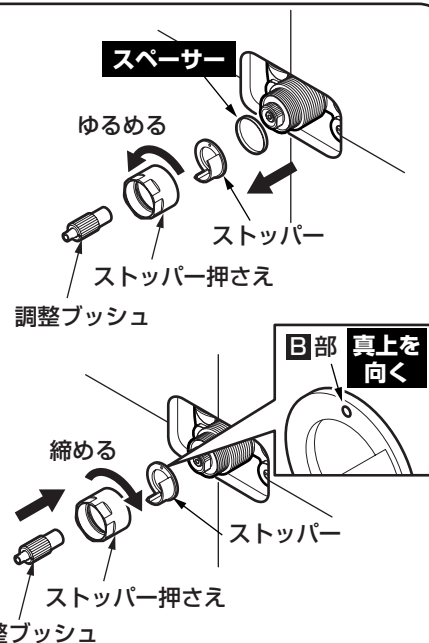
**25~35mm未満** の場合：③へ

**35~45mm** の場合：スペーサーを取り外す。  
 (下記参照)



### スペーサーの取外方法

- 調整ブッシュを外し、ストッパー押さえをゆるめ、ストッパーを取り外す。
- スペーサーを取り外す。
- ストッパーの **B部** が **真上を向く** ように取り付ける。
- ストッパー押さえをねじ込み、調整ブッシュを取り付ける。



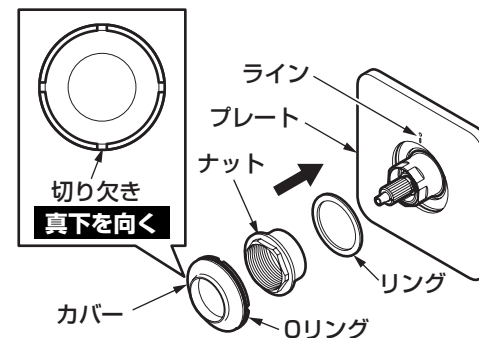
### 注意

- 必ずストッパーを取り付けてください。
- ストッパー押さえはゆるみがないようにしっかり締め付けてください。

③プレートのラインが上側にくるように開口部に合わせて取り付け、リングを入れ、ナットで固定する。

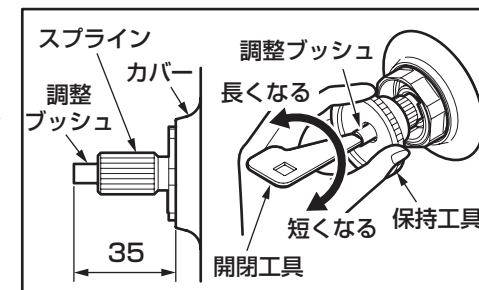
④カバーの切り欠きが真下を向くように押し込む。

※カバーが取り付け難い場合は、Oリングにせっけん水を薄く塗布すると取り付け易くなります。



⑤同梱の保持工具をスプラインに差し込む。

⑥保持工具が回らないように手で押さえ、カバーの先端と調整ブッシュ先端までの距離が35mmになるように調整ブッシュを開閉工具などで調整する。  
 ※距離が短い場合は反時計回りに、長い場合は時計回りに回してください。

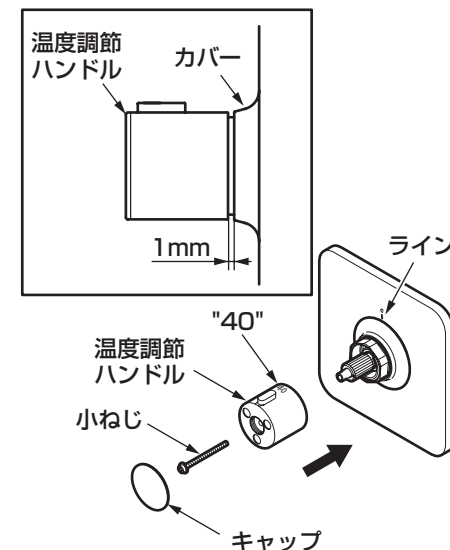


⑦温度調節ハンドルの目盛り"40"とラインを合わせてはめ込み、温度調節ハンドルとカバーのすき間が約1mmになっていることを確認する。

### 注意

必ずすき間が約1mmになっていることを確認してください。

1mm以下になると、ハンドル下端とカバー上端がこすれ、正常な操作ができなくなります。



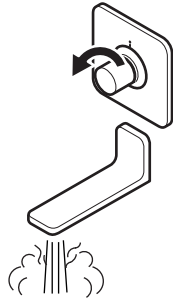
⑦温度調節ハンドルを小ねじで固定してキャップを取り付ける。

# 8-1

## 施工後の調節

### 1. 水出し確認

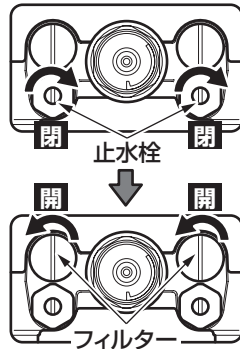
開閉バルブやバススパウトなど、サーモスタット混合栓以外の器具の取り付けが完了したあと、配管部の元栓を開け、水が出るか確認してください。



### 2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。フィルターが詰まると流量が少なくなったり、水または、熱湯しか出なくなるなど、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にもときどき掃除していただくようにご説明願います。

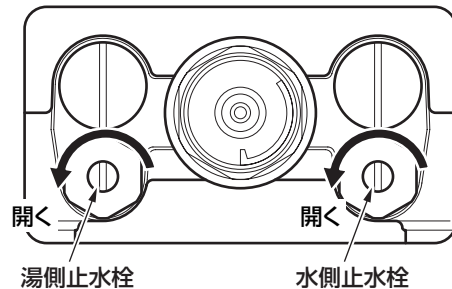
※フィルターを掃除する際は、止水栓を閉めてからフィルターを外してください。  
(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照してください)



### 3. 流量の調節

マイナスドライバーを差し込み、止水栓を**全開**にしてください。

その後、**7-3**—**5**「プレート・カバー・ハンドルの取り付け」を行ってください。



### 4. 吐水温度の確認

温度調節ハンドルは工場で設定していますが使用条件（給水・給湯圧力、給湯温度）が異なると、表示どおりの吐水温度にならないことがあります。吐水温度が表示どおりになっているか以下の要領で確かめてください。

#### 1. 給湯機の給湯温度を設定する。

給湯機の給湯温度は吐水温度より10℃以上高く設定してください。

例えば、40℃の湯を出したい場合、給湯機の設定温度は50℃以上に設定してください。

誤操作などによるやけど防止のため、60℃給湯をおすすめします。

#### 2. 温度調節ハンドルの目盛り "40" "40" をラインに合わせる。

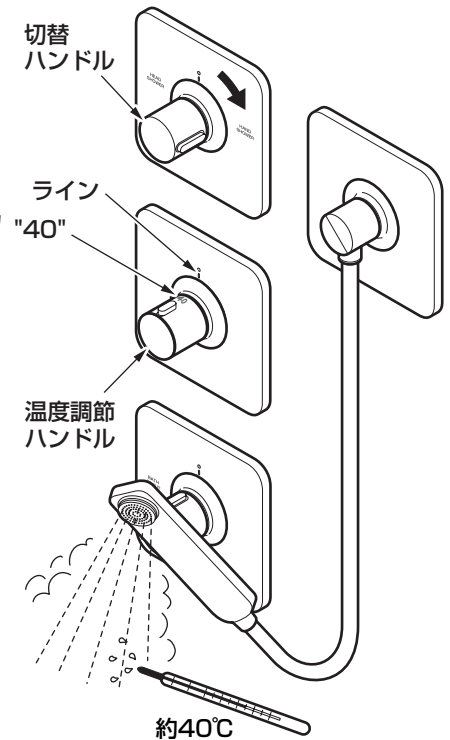
#### 3. 切替ハンドルを右側いっぱいに回す。

ハンドシャワーから水が出ます。

ハンドシャワーがセットされていない場合は、開閉ハンドルを左側いっぱいに戻してください。  
バススパウトから水が出ます。

#### 4. 吐水温度を確認する。

吐水温度が適温（約40℃）であればそのままご使用いただけます。吐水温度が適温からずれている場合は、次項を参照し、設定し直してください。



## 5. 温度調節ハンドルの設定

※吐水温度が表示どおりになっていないときに行ってください。

## 1. 切替ハンドルを右側いっぱいに戻す。

ハンドシャワーから水が出ます。

ハンドシャワーがセットされていない場合は、開閉ハンドルを左側いっぱいに戻してください。  
バススパウトから水が出ます。

## 2. 温度調節ハンドルを目盛りに関係なく適温(約40℃)の湯が出る位置まで回す。

温度調節ハンドルは目盛り"40"付近でロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。

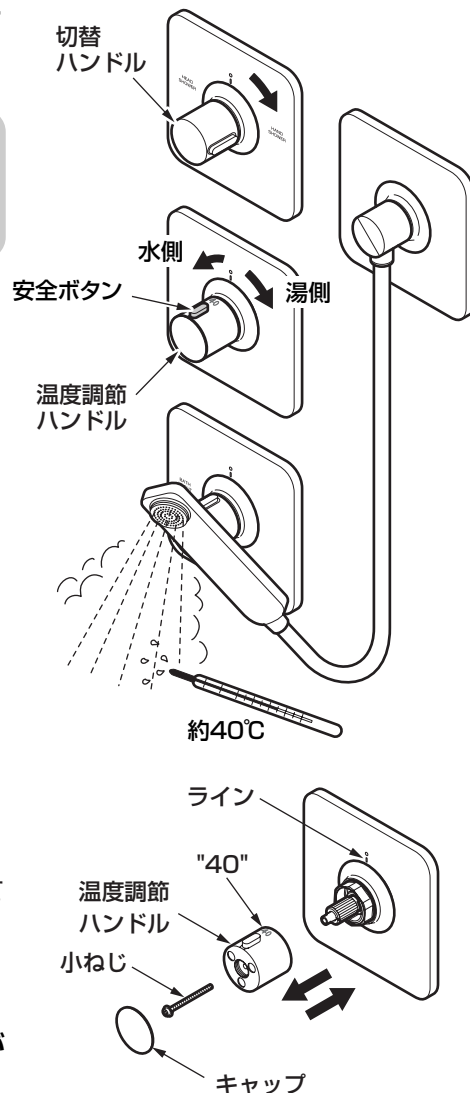
## 3. 温度調節ハンドルを外す。

温度調節ハンドルが回らないように注意してキャップ・小ねじを外してハンドルを抜き取ってください。

## 4. 温度調節ハンドルを取り付ける。

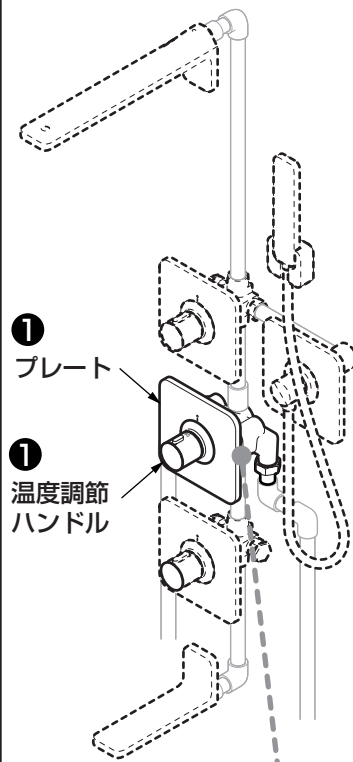
目盛り"40"の文字とラインを合わせて温度調節ハンドルをはめ込み、小ねじで固定してキャップを取り付けてください。

## 5. 固定後に適温(約40℃)の湯が出ているか確認する。



## 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



## ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

## ① プレート・ハンドルのガタツキはないですか？

➡ 7-3 - ⑤「プレート・カバー・ハンドルの取り付け」参照

## 流量および吐水温度の確認

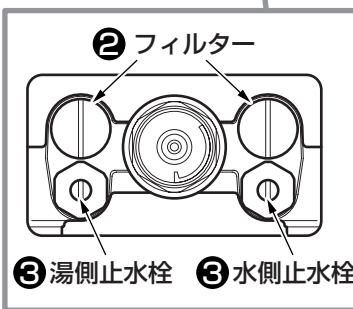
流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

## ② フィルターのごみ詰まりはないですか？

➡ 8-1 - ②. フィルターの掃除 参照

## ③ 止水栓は開いていますか？

➡ 8-1 - ③. 流量の調節 参照



※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡してください。

再生紙を使用しています。